

衛研第1-36号
平成27年12月2日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 27 年 第 48 週 (平成 27 年 11 月 23 日～平成 27 年 11 月 29 日)

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類、二類(結核を除く)、三類感染症の届出はなかった。四類感染症はレジオネラ症 1 人の届出があった。五類感染症は、急性脳炎 1 人、梅毒 6 人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**RSウイルス感染症**(1.84→1.69)の定点当たり報告数は、前週と同水準に留まり、多い状況にある。保健所別では、本庄(1.00→3.00)保健所管内で大きく増加し、狭山(3.29)、鴻巣(2.58)、加須(2.50)、朝霞(2.47)保健所管内からの報告が多い。年齢別では 1 歳以下で全体の 78.1%を占めている。**流行性耳下腺炎**(0.83→0.92)の定点当たり報告数は、前週より微増し、前年までの同時期より多い。保健所別では、坂戸(0.33→1.67)保健所管内で大きく増加し、幸手(2.67)、春日部(2.17)、草加(2.09)保健所管内からの報告が多い。**水痘**(0.85→1.05)の定点当たり報告数は、例年に比べ低い水準で推移しているが、44 週以降増加が続いている。保健所別では、鴻巣(0.33→1.33)保健所管内で大きく増加し、朝霞(2.47)、幸手(1.56)保健所管内からの報告が多い。**伝染性紅斑**(1.11→0.89)の定点当たり報告数は、前週より微減したが、43 週以降増加の傾向が伺われる。保健所別では、坂戸(2.17)保健所管内からの報告が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(3.15→2.90)の定点当たり報告数は、前週と比べ僅かな減少に留まった。保健所別では、川越市(6.75)、熊谷(6.33)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、**流行性角結膜炎** 38 人の報告があり、前週の 31 人より増加した。基幹定点報告対象疾患では、**マイコプラズマ肺炎** 7 人、**インフルエンザ(入院)** 1 人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし(結核を除く)	
三類感染症	報告なし	
四類感染症	レジオネラ症	1 人(病型 肺炎型)
五類感染症	急性脳炎	1 人(病原体 単純ヘルペスウイルス)
	梅毒	6 人(病型 早期顕症Ⅰ期 2 人、早期顕症Ⅱ期 2 人 無症状病原体保有者 2 人)

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: 5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第48週)

(2015年12月1日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		6	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症		162			
四類感染症					
E型肝炎		6	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
ウエストナイル熱			ニパウイルス感染症		
A型肝炎		16	日本紅斑熱		
エキノкокクス症			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病		1	Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
サル痘			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兎病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱		1	レジオネラ症	1	81
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		13	ロッキー山紅斑熱		
東部ウマ脳炎					
五類感染症					
アメーバ赤痢		28	侵襲性肺炎球菌感染症		67
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		5	水痘*		7
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		37	先天性風しん症候群		
急性脳炎	1	24	梅毒	6	91
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		7
クロイツフェルト・ヤコブ病		8	破傷風		2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		10	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		32	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		7
ジアルジア症		4	風しん		8
侵襲性インフルエンザ菌感染症		11	麻しん		3
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	4			1

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第48週 平成27年11月23日～平成27年11月29日)

	年齢別																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～
インフルエンザ #1	26	-	-	-	-	-	3	-	5	1	-	3	5	-	2	1	2	1	2	1	-
RSウイルス感染症	274	48	74	92	36	14	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	85	-	1	13	14	11	11	15	7	4	3	1	4	-	-	-	-	-	-	-	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	469	-	1	13	16	26	50	69	65	75	48	34	51	5	16	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,066	9	64	138	89	101	126	108	71	48	50	40	93	24	105	-	-	-	-	-	-
水痘	170	2	4	20	12	7	26	18	23	22	14	9	13	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	30	-	2	9	4	5	3	-	3	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	144	-	2	15	14	7	24	18	18	13	11	10	10	-	2	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	78	-	25	43	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	7	-	-	-	2	-	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	149	-	-	-	7	10	24	31	21	13	9	10	18	2	4	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	38	-	-	2	-	-	3	-	1	-	1	1	1	-	5	9	5	3	4	3	-
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	7	-	2	3	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第46週

(11月9日～11月15日)

平成27年12月2日

インフルエンザの定点当たり報告数は第41週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.91)、静岡県(0.39)、宮城県(0.29)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は18例と前週と比較して増加し、14都県から報告があった。

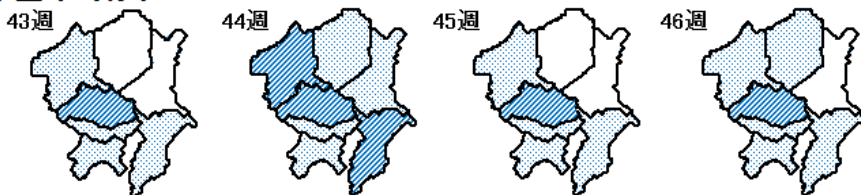
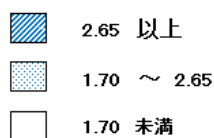
RSウイルス感染症の報告数は5,465例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約68%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第42週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は鳥取県(1.63)、山形県(1.13)、新潟県(0.88)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第43週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(6.79)、山形県(5.07)、静岡県(4.80)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第40週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は鹿児島県(14.69)、宮崎県(14.44)、鳥取県(13.21)である。水痘の定点当たり報告数は第42週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(1.12)、大分県(1.11)、北海道(0.93)である。手足口病の定点当たり報告数は第36週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は秋田県(1.14)、山口県(1.04)、青森県(0.93)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(2.10)、大分県(2.06)、秋田県(1.57)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.21)、佐賀県(3.04)、石川県(1.86)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は富山県(2.80)、石川県(2.00)、東京都(1.60)、岐阜県(1.60)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。8都道府県から12例報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～4歳(5例)、5～9歳(2例)、10代(1例)、50代(1例)、60代(1例)であった

<関東情報>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、埼玉県(3.09)からの報告が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



平成27年 46週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 707 定点当たり 0.14	211 0.14	12 0.10	6 0.08	24 0.24	44 0.17	28 0.13	61 0.15	36 0.11
RSウイルス感染症	報告数 5,465 定点当たり 1.73	1,265 1.34	135 1.80	163 3.40	114 1.90	250 1.55	125 0.93	310 1.20	168 0.82
咽頭結膜熱	報告数 1,240 定点当たり 0.39	327 0.35	21 0.28	9 0.19	12 0.20	75 0.47	62 0.46	89 0.34	59 0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 8,176 定点当たり 2.59	2,293 2.43	110 1.47	97 2.02	152 2.53	497 3.09	354 2.62	655 2.53	428 2.09
感染性胃腸炎	報告数 21,696 定点当たり 6.88	5,652 5.99	365 4.87	119 2.48	383 6.38	930 5.78	661 4.90	1,871 7.22	1,323 6.45
水痘	報告数 1,725 定点当たり 0.55	565 0.60	47 0.63	26 0.54	7 0.12	119 0.74	64 0.47	142 0.55	160 0.78
手足口病	報告数 1,156 定点当たり 0.37	333 0.35	27 0.36	20 0.42	13 0.22	52 0.32	73 0.54	57 0.22	91 0.44
伝染性紅斑	報告数 1,861 定点当たり 0.59	446 0.47	56 0.75	36 0.75	35 0.58	121 0.75	75 0.56	89 0.34	34 0.17
突発性発しん	報告数 1,635 定点当たり 0.52	498 0.53	26 0.35	21 0.44	32 0.53	87 0.54	67 0.50	143 0.55	122 0.60
百日咳	報告数 74 定点当たり 0.02	18 0.02	1 0.01	-	1 0.02	3 0.02	-	8 0.03	5 0.02
ヘルパンギーナ	報告数 177 定点当たり 0.06	37 0.04	2 0.03	1 0.02	2 0.03	9 0.06	6 0.04	10 0.04	7 0.03
流行性耳下腺炎	報告数 2,198 定点当たり 0.70	594 0.63	64 0.85	19 0.40	13 0.22	167 1.04	101 0.75	141 0.54	89 0.43
急性出血性結膜炎	報告数 10 定点当たり 0.01	1 -	-	-	-	1 0.02	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数 574 定点当たり 0.83	228 1.12	22 1.29	9 0.75	14 1.00	50 1.22	32 0.94	30 0.77	71 1.51
細菌性髄膜炎 #2	報告数 9 定点当たり 0.02	2 0.02	-	-	-	1 0.10	-	-	1 0.10
無菌性髄膜炎	報告数 14 定点当たり 0.03	5 0.06	-	1 0.14	1 0.13	1 0.10	1 0.11	1 0.04	-
マイコプラズマ肺炎	報告数 360 定点当たり 0.76	85 1.04	6 0.46	6 0.86	7 0.88	7 0.70	6 0.67	40 1.60	13 1.30
クラミジア肺炎 #3	報告数 16 定点当たり 0.03	4 0.05	-	-	-	-	1 0.11	3 0.12	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 12 定点当たり 0.03	2 0.02	-	-	-	-	-	1 0.04	1 0.10

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

